

SSTK 通信

NO.223

2023年度は
もっともっと
みんなで会いたい!

2023年度総会
5月28日(日)13時~
さいたま浦和コミセン
14集会室(パルコ10階)



かっぱで週3回販売しています→
蕨市の障害者就労支援施設 らくらくのお弁当

2022年度

総会にいただいた会員からの一言

- 高柳俊哉さん(欠席) さいたま市議会では先月臨時議会を開催し合併以来の課題であった新市役所への一条例を可決しました。今後、庁舎のバリアフリー化などの課題をじっくりと議論していけるかと思っています。
- 高橋儀平さん 変わらず過ごしています
- 大野邦子さん・古河誠さん 通信いつも読んで各地の皆さんの取り組みに元気をいただいています。狭山第3次再審開始に向けしつこく頑張っています。
- 田中美恵子さん お米作りを再開しました。5月半ばにまた、富山に行きます。庭の手入れ、畑づくり、草刈り etc. 大忙しです。疲れたら近くの温泉へ。
- 朝日雅也さん 世界平和を祈るばかりです。
- 林まりさん 元気でです
- 竹迫和子さん 7月10日の相談会 よろしく!
- 吉田ももさん 元気でやっております。当日はよろしく願います
- 羽田亮介さん 埼玉高教組共生部としても、今後も連携をしたいと考えます。
- 辻 浩司さん 地元で他の会合と重なり欠席します。埼玉の共に生きる運動のプラットホームにある自立生活協会の存続と飛躍のために共に頑張ります。
- 鈴木紀代子さん いつの間にか80歳を過ぎましたが、おかげさまで元気です。(元気力)というお店で木曜日に2時間ボランティアをしています。

2022年5月29日(総会に)

一般社団法人・埼玉障害者自立生活協会

〒356-0006 埼玉県ふじみ野市霞ヶ丘三丁目1番24棟-403号

TEL 090-7906-9124 Email jirituseikatukyokai@wing.ocn.ne.jp

郵便振替: 00180-2-566719 または 038 普通貯金 9486343

<http://www.saii.or.jp> FAX 048-737-1489

発行人・埼玉県障害者団体定期刊行物協会 川口市芝新町十五・九 アステール藤野一階

令和4年度施策推進協議会の報告

八木井雄一

去る2月15日(水)、令和4年度最後の第3回埼玉県障害者施策推進協議会が埼玉会館で行なわれた。今年度の協議会は、まずワーキングチームの入れ替えから始まった。せっかくこれまでの3年間Aチームで主にヒューマンライブラリーに関する協議を重ねてきたのに…後ろ髪を引かれながら「共に学ぶ」と「安心安全」を取り扱うCチームへ移った。

小中高と東京・板橋の養護学校に通っていた私は、地元川口では友達がまったくいなかった。その寂しい経験からチームCでは、障害者が地域の学校に行くことの重要性を訴えた。担当課(特別支援教育課と義務教育指導課)をワーキングに呼ぼうとしたが、義務教育指導課は出席せず文書回答で済ませた。回答のほうも特段目新しいものではなく、昨年8月の「国連勧告」を受けている「インクルーシブ教育」とは程遠い印象が否めない。また「安心安全」の部分では、感染症対策について話し合った。社団の中で起こった発生事例を資料として、地域に住む障害者がコロナにかかった時の問題(ヘルパーが入れなくなるなど)を報告した。

なお、全体会で「ヒューマンライブラリー」は「彩の国彩りライブラリー」と名称が変更された。

この全体会をもって、2期4年の委員の任期を終えることになる。委員の中にはいろいろな障害や考え方の人がおられて、なかなか社団の中では味わえない刺激を受けた。はじめはこんな大役が務まるかとても不安だったが、パブリックコメントを書いて頂いたり、小さな学習会を開いたりして社団のみなさんのご協力があったからこそ、何とか最後まで走り抜けたと思っている。

誠にありがとうございました。

左写真の中央が八木井理事。

その後ろで眼鏡をかけているのは故沖田さん。

毎年3月に県活で行われる

「こども夢みらいフェスティバル」で将棋対戦コーナーを二人で担当。

よきライバルでした。

今年のゆめみらいは

ZOOMで開催



最近 店番に関わっています！

並木 理(所沢市)



かつぽ店番に、入りはじめたのは、覚えているのは、2021年11月に1回。2022年1月から、入れるときは、入るようになりました。自立生活協会事務局長：下重さんと組んで、県庁内を、周りまわりました。

かつぽ前に、昼12時に集合して、12時45分頃から、準備して、13時30分には、かつぽを出発しました。15時30分頃に、かつぽに戻ってきて、商品を元に戻して片付けて、お金の計算やレジ閉め、入金などです。自分が、思ったのは、商品に値札を、パチンパチンとするのは、貼るのは、面白かったです。楽しかったです。

かつぽ店番の時のちょっとした楽しみが、かつぽに12時頃集合して、かつぽ弁当を食べるのが、楽しみの一つでした。かつぽ弁当が、美味しかったので、特に、大沢牛乳を買って、牛乳を飲みながら、かつぽ弁当を食べるのは、美味しかったです。

かつぽ店番に、下重さんと組んで入るようになってから、かつぽでの買い物は、PayPay/ペイペイでするようになりました。PayPayで買い物するのも、楽しかったです。

ただ、昨年、12月4日に、親父が脳梗塞で入院して、12月21日に、早期退院できたのですが、脳梗塞をした後は、平衡感覚が、前とは、違うから、自転車とか車を乗れなくなり、買い物とか家のことを、自分が、やるようになって、かつぽ店番に、入るのが、難しくなりました。かつぽ店番の仕事の難しさ、大変さが、体験できました。実感できました。

こんな形で、かつぽに入れなくなるのは、残念なんです、ご容赦の程、よろしく願いいたします。これからも、陰ながら、かつぽを応援して、いきたいと思えます。

かつぽ facebook
2023年2月10日
おじさん一ず！！
かつぽは毎日が
弥次喜多道中！



雪が降るなかやってきたおじさん一ず。
悪天候の日はお弁当が売れるんです！

でも沢山ご注文を頂いたものの誰が配達へ行くのか…。

そこでひでよしさんに「しんいちさんと二人で配達行ける？それともお店番の方が良い？」と聞いてみると「お店番」というのでお願いすることに。しかし今度はレジが心配と。そこで考えました！レジは打たずに箱の中のお金でやりくりしてもらうことに！用意しているとひでよしさんが「売れたものはメモに書いて置いてほしい」と。

さすが頼りになる漢！

戻ってみるとご覧のようにメモ書きが！しっかり出来てる！と感動したのですが：メモと売上金合わず…確認してみると「レジにも打っちゃった」とのことでした。

でもなんとか二人でがんばってくれました😊

午後はお店を閉めてみんなで注文品のお届けと集金へ。午前中ふたりに近場を頼んでみたのですが、任務成功ならず！だったので。

無事に配達と集金を終え、今日はだいが早めの店じまいしました。

雪がかなり降っていますからね

皆さまも今日は早めに帰りましょうー

共育の取り組み

障害者権利委員会の勧告(9月)についての取り組み

～市町村教育委員会へのアンケート～

8月の国連権利委員会の日本審査後の勧告では、日本で行われている特別支援教育を「分離する特別教育」としています。そして、障害のある子どもを普通学校で受け入れ合理的配慮をしてインクルーシブ教育を行うようにとストレートな勧告をしています。

そこで、社団、ネットワーク、埼玉連絡会の3団体連名で、県内の市町村教育委員会へアンケートを取ることにしました。この勧告についてどう対応するか、また、通常学級では何人ぐらい学んでいて、どのような配慮を行っているかといった現状についてです。その際に、まずは勧告の内容を知ってもらうことが重要であると、勧告文も入れました。

まだ集まりは少ないですが、インクルーシブ教育システム(多様な学びの場に分ける特別支援教育)とインクルーシブ教育の違いが認識されることが必要だなということを感じています。教員をふやすことも教育現場からの必要条件としていくつもの市町村から上げられています。取りまとめて下記のもある共同研究会でも資料にし、活かしていきたいと思えます。(竹迫)

今年度第2回共に学ぶ教育の推進に向けた共同研究会(12/28)報告

今年度も「共に学ぶ」事例の収集と発信ということをテーマに取り組んでいます。義務教育指導課から事例は、市町村の教育指導主事を集めた連絡協議会の特別支援教育部会で発表されたという、40余りの事例から抽出したりまとめたりしたものが報告されました。個人情報に配慮してまとめた結果、ちょっとわかりにくい配慮事例もありますが、いろいろな配慮の下で共に学んでいることが分かりやすくなっていると思えました。それらの事例は、義務教育指導課のホームページで公開されています。

また、義務教育指導課からは、共に学ぶことを希望している障害児や保護者が知りたい情報にアクセスしやすくするには、どんな検索ワードにヒットするよう工夫すればよいかという質問も出され、共に学ぶ上でできることを義務教育指導課も少しずつ進めてくれていることが分かり、心強く感じました。

そのページへは「埼玉県 義務教育指導課 通常の学級で共に学ぶ取組事例」を検索す

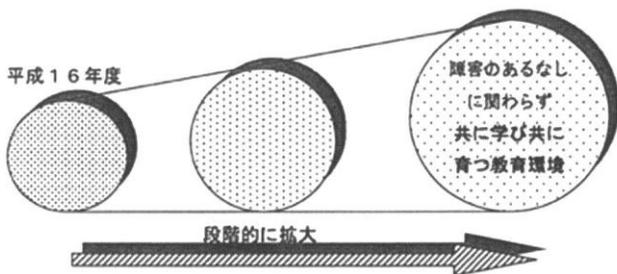
ると行くことができます。

みなさん、ぜひ、一度覗いてみてください。また、こんな検索ワードでそのページにアクセスできればいい、という意見をお持ちの方、ぜひご意見をお寄せください。ご意見のあて先は Email : donokomo1987@yahoo.co.jp へどうぞ。よろしく申し上げます。次回共同研究会は3月24日(金)2時~埼玉会館4C (中山)

今年度第3回高校問題県交渉(2/3)の報告

年末に文科省から各都道府県の定員内不合格数が公表されました。埼玉県については県交渉で公表されていたとおり、0でした。ですが、知的障害などで点数の取れない生徒の受験がありません。そのような生徒も高校で学べるような入試制度にと、何年も話し合いを続けていますが、いっこうに進んでいきません。県は「公平公正に選抜している」と言い張りますが、障害のある生徒が入れない入試制度は差別です。(竹迫)

第1章 埼玉県におけるノーマライゼーションの理念に基づく教育推進の方向性と課題について



験がありません。そのような生徒も高校で学べるような入試制度にと、何年も話し合いを続けていますが、いっこうに進んでいきません。県は「公平公正に選抜している」と言い張りますが、障害のある生徒が入れない入試制度は差別です。(竹迫)

20年後の今、埼玉県のこの計画はどう進んでいるのだろうか？

【八木井コラム】

年の押し詰まった1229日の夜に私は高熱が出てしまった。年末のお知らせにも書いたが11月に尿路感染症で入院した私。

今回もヘルパーさんに救急車を呼んでもらったのだが、コロナ感染拡大の影響で受け入れてくれる病院すらなく、救急車に乗ることもできず自宅待機することとなった。

内心、入院はヘルパーや食事などいろんなことを考えないで済むので、正月明けくらいまで入院させてくれないかと密かに期待していたが、世の中そんなに甘くなく、不安な夜を一人で過ごさざるを得なくなった。

しかし翌朝になったらあの熱が嘘のように平熱まで下がっていた。30日に久しぶりに会う友達と将棋を指すことになっていて、興奮しすぎたのか、子どもの遠足の前の日のような熱が出たのかもしれない。なんとも情けない話だ。

その裏でねこのてや移送サービスの人たちが熱が下がらなかつた時の万が一に備え、車の手配などで走り回っていたそうだ。そんなこともつゆ知らず、私はのん気に自分のベッドで寝ていた。医療がひっ迫している第8波の中、ただ前回と同じように何も考えずに救急車を呼び、あわよくば入院したいと思うなんて、地域の中で住んでいる者にとってはありえないことだと猛省したが…。ああ、穴があったら入りたい。

当協会理事であり、SSTK事務局の八木井さんでした。

偲 ぶ

2022年度は、当協会関係者の多くの方が、私たちの住む世界から旅立ちました。訃報が届くたびに、心が折れてしまうような気持ちになっていたのが正直なところです。それでも、残された私たちは、日々を過ごしていかなくはなりません。諸先輩方を含め、旅立たれた方たちを偲んで、思いを書きいただきました。

沖田君、田島君の思い出

この頃ふと思う事は幼い頃に埼玉療育園で過ごした日々が懐かしい・・・

どこからともなく私の耳に聞こえて来たのは、「埼玉療育園で過ごした仲間たちが亡くなった」と言う知らせだ。沖田君、田島君が懐かしくて・・・

急に沖田君や田島君といっしょに過ごした日々が目の前に浮かんで来ては寂しくて・・・

お互いに幼くいつも先生や保母さんたちと散歩に行き行って転んで泣いてたっけなあ。又、朝よく保母さんたちの手伝いをして沖田君の着替えしてやっている時はよく大きな声が聞こえるとみんなから言われたよ。

「元気な笑い声が聞こえて楽しそうね」と言われたね・・・

沖田君大きな口を開けてね・・・ああ一楽しかったね。

いつの間にかみんなも笑ったっけなあ。

田島君はいつもみんなにお喋り掛けていたよ・・・

沖田君も田島君も天国にいる仲間たちは優しかった。

保母さんたちに・・・又お話や絵本を読んでもらってね・・・みんなをいつまでも見守ってね。(レタス通所者、白崎由起子さんからの寄稿です。ご自身が幼少期、入所施設にいたころの思い出の文章です。)



2019年地域巡業での沖田さん



白崎さん

■「NPO 法人地域自立支援グループ あんさん 理事長沖田が誤嚥のため3月14日から4月25日のあいだ、行田総合病院に緊急入院しました。一時は仙人のようになりましたが、何とか帰宅した後は徐々に回復し、普通の沖田のようになってきました。コロナ禍の中、入院時ヘルパ派遣はおろか面会もリモートで、ずいぶん孤独を味わったようです。」

と、総会の時には、ご連絡をいただきましたが、この後、再び入院され7月17日にお亡くなりになりました。

紙面上に出てくる方だけでなく、11月に当協会理事である田中亨周さん、ネットワーク関係の猪瀬剛さん、神田浩亮さんのお父さん、飯田力元理事の奥様の飯田房子さんがお亡くなりになりました。

皆様のご冥福をお祈りいたします。

飯田力前(遊 TO ピア)理事長を偲んで

大沢隆明

私は今年の3月(3年間の休職含む)まで遊 TO ピアに在籍していました大沢です。飯田力前理事長が亡くなったのは、一昨年(2021年10月14日)でした。私は休職していたため、誰からかわからないけれど聞いたときにはびっくりしました。最初聞いたときは信じられなかったもので、遊 TO ピアの事務局に電話しました。本当だと聞いたときはショックでした。密葬で何名かは参加できると聞いたけれど、朝早かったし、私の体調がよくなかったので欠席しました。でも、昨年の12月25日に熊谷市市民活動支援センターで障害者週間記念イベントで、飯田力が歩んできた歴史と熊谷市における障害者運動をゆかりのある関係者に語ってもらうイベントに参加しました。また、昨年の10月8日に熊谷市にある見性院で一周忌と納骨が行われ参加しました。



飯田力前理事長と最初に会ったのは、1998年10月下旬でした。サラリーマンを辞めた年の8月下旬でした。福祉の事業者を探していた時に、浦和市(今はさいたま市)にあった埼玉県福祉人材センターで遊 TO ピアのチラシを見て、事務所に電話して、土曜日の昼間でした。障害者の人と話すのも初めてでした。何を話したか忘れましたが、飯田力前理事長の介助にすぐに入ることになりました。初めは、飯田前理事長が話している言葉がわかりませんでした。慣れてくるとわかるようになりました。その当時に言われたことは、話している内容を知ったふりして聞いているのが良くないと言われました。わからなければ何回でも聞いてよいと言われました。飯田前理事長の介助で思い出すのは、電動カミソリで髪の毛を剃ったことです。血を出さないようにとひやひやでした。それから歯間ブラシで飯田前理事長が寝てしまって、起こしても起きないので、思い切り口を開けて歯間ブラシをしたことがあります。それから、夜中に一般社団法人や遊 TO ピアの原稿を作成した時に寝られて困ったことがあります。飯田前理事長とは他の介助者と比べて年齢が高かったので寒いギャグ(ダジャレ)を言い合いましたこともありました。2020年4月に遊 TO ピアの中の心身障害者デイケア施設わんすてっぷの職員になりました。しばらくは、昼間にワンステップ、夕方から夜にかけて飯田前理事長の介助をしました。一般社団法人埼玉障害者自立生活協会との出会いは、遊 TO ピアの職員になる前の一年半の間に飯田前理事長と一緒に浦和市(今はさいたま市)へ会議や県交渉やネットワークの合宿などに行きました。その時に埼玉県内の障害者団体と交流ができました。飯田力前理事長と出会ってなかったら、このような貴重な体験ができなかったです。飯田力前理事長には感謝しています。遊 TO ピアの職員になってからは、行く回数は減りました。でもまた最近是一般社団法人埼玉障害者自立生活協会のイベントに参加して、いろいろな人と出会いたいです。最後に、飯田力前理事長と出会えてよかったです。ありがとうございます。安らかに眠ってください。

「出会ってくれてありがとう」

高橋君年

令和4年10月3日に神田浩亮さんが亡くなったとの訃報を受け取った。

その後も知人より同じ連絡が次々に入る。

私は埼玉(春日部)を離れてから10年以上が過ぎている。それでも、何かあるといつも連絡をもらうが、今回の知らせには驚きと深い悲しみを隠せなかった。

今回、恐縮なことだが神田浩亮さんに関する原稿を依頼された。

彼と出会い、時間をともにした人は多く、それぞれの方が思い出をお持ちだろう。

その素晴らしい時間を思い出しながら、こんなふうに一緒に過ごし、こんな思いを持っていた人もいたんだと読み進んでもらえばと思う。

ヒロ(神田浩亮)と初めて出会ったのは大宮バリアフリー研究会・デイケアノイエだった(私はパート職員として、その後3年ほどお世話になる)。

ヒロは言語でのコミュニケーションを得意とはしないが、音楽をコミュニケーションツールとして、あっという間に人との距離を縮めることが出来る。振り返ると、すべての感情を表現できる表情とハーモニカやウクレレを武器に、出会った人を自分の虜にする天才だったと思う。

またノイエのみんなから愛される存在であった。

私がいた頃のノイエでは出張パン販売があり、販売のセッティングにヒロの力はかせなかったし、それがヒロの仕事であった。

身体障害(車いす)のメンバーが多い中で、台車を使った運搬や力仕事にヒロはかせないのだが、時折動かなくなることや姿を消すことがあり、その度にメンバーからは叱咤激励されていた。姿をくらまして行くところは必ずといっていいほど決まっており、音楽関係か本人のお気に入りの人がいるところが多かった。ヒロは芸術家であり、人を魅了する天才だった。そんなヒロをみんなが分かって認めていた。

どれだけ多くの人がヒロと関わり、その生き方を知り、価値観を変えられ、神田浩亮という人間に魅了されたかは計り知れない。そうやってヒロは街や人を変えていたのだと思う。

ノイエの近くのコンビニ店員は、毎日のように一人でお昼の買い物にくるヒロの接客を



していた。初めてその光景を見た時は不思議さと面白さを感じた。好きなお昼を一つ選び、レジに持って行く。

若い不愛想な女性店員は、また来たのねと当たり前のようにヒロのポーチからお金を取り出す。会計をして、レシートとお釣りをヒロのポーチに戻す。ヒロはお昼を手にノイエに戻る。言葉でのやりとり等はほぼないが、毎日のように大宮のど真ん中にあるコンビニには、そんな街の風景があった。初めからあるはずがなく、これもヒロが作り上げた地域の人の関わり方なのだと、今振り返ると思う。

私自身もヒロと出会い、一緒に時を過ごすことで価値観を変えられた一人なのだが、出会ったばかりの頃はあまりヒロへの興味は湧かなかった。

一緒にいることを通して、ヒロをより深く知ることがなければ、興味が湧くことはなかったと思う。私はヒロのことをその母親である神田正子さんからもたくさん教わった。

いつぞやの合宿の夜だったか、神田さんからヒロの話聞く機会があった。

ヒロが生まれた頃からの話だった。障害を持って生まれたヒロが先ず医療に差別をされたこと(生後間もなく手術の必要があるも受け入れを断られる)、その後の就学時の差別、障害を持ちながら普通学級に通うことの大変さ(ヒロも母親も)。神田さんは途中から涙を見せながら話をしてくれた。

それでも、成人式にはヒロに多くの同級生が声をかけ、一緒に写真をとったことや、あたりまえに地域で生活して育ってきたヒロの話もたくさん聞かせてもらった。

そこには必ずヒロが多くの人と関わりながら生きてきたことを感じとれた。

ヒロにとってはあたりまえに歩んだ過去が、私には経験したことのない世界の出来事のように聞こえ、ヒロの魅力に引き込まれた。

それからヒロと街に出ることが私の楽しみとなり、どれだけの時間を一緒に過ごしただろうか。

今、私は障害福祉施設職員をしている。時折、家族や職員、関係者にヒロの過去やヒロと一緒にしたこと、それらを通して見えた社会や街の景色等の話をしている。

話し終わった後に、また一人で思い出し「ヒロは今頃どうしてるだろうか、俺も元気にやっているが、ヒロは元気かな?」と考えながら、時には自分のモチベーションにしていた。

ヒロが亡くなったこれからも、私はヒロとの経験を軸に生きていこう。

ヒロが急にいなくなった今は寂しいけれど、ヒロからは言葉では表しきれないたくさんのモノをもらった。だから私は、二人でした経験をこれからも語っていこうと思う。

最後にヒロへ 「出会ってくれてありがとう」。

令和4年度講演会

3.11 あの日を忘れない～身を守るための備えを～

日時：令和5年3月11日(土) 13:00 受付開始
13:30～15:30

場所：江南ピピア(江南公民館会議室A・B) 裏面に地図有

参加費：無料

申し込み：令和5年3月3日(金)

熊谷市立障害福祉会館までお申し込みください。

障害者団体、一般の方どなたでもお申込みいただけます。

2011年3月11日 どこで何をしていましたか??

東北大震災から11年の歳月が過ぎました。

2035年には大きな地震が再び起こると言われています。

その時、私たちは何ができるのでしょうか?

そしてもしもに備え、私たちは何をしておくべきなのでしょうか?

今回は、車いすユーザーで東北大震災の時、福島県いわき市で被災した小野和佳氏をお招きし、経験やその時に感じた思いをお話ししていただきます。

・・・*共に学び共に考えよう*・・・

おの かずよし

小野和佳氏



1982年 生まれ

2003年 いわき市にある自立生活センターの当事者スタッフとして勤務

2011年の東日本大震災を受け、福島県内の5ヶ所の自立生活センターで、原発事故等からの障害者の居住場所を変える支援を目的とした「サテライト自立生活センター」(神奈川県相模原市)での活動のため上京。

お問い合わせ&申し込み先

熊谷市障害者団体連絡協議会

熊谷市宮町2-65 熊谷市立障害福祉会館内

TEL: 048-524-7068

FAX: 048-526-2581

江南ピピア(江南公民館)

アクセス



江南ピピア

住所：熊谷市千代325番地1 電話：048-536-6262

・ ・ ＊ ・ ・ ・ ＊ ・ ・ ・ ＊ ・ ・ ・ ＊ ・ ・ ・ ＊ ・ ・ ・ ＊ ・ ・ ・

路線バスでお越しの方

- ・ 熊谷駅－循環器呼吸器病センター「大沼公園バス停」から 徒歩6分
- ・ 熊谷駅－循環器呼吸器病センター「江南病院前バス停」から 徒歩8分
- ・ 熊谷駅－循環器呼吸器病センター「小原十字路バス停」から 徒歩9分

2022年度会費納入



ありがとうございました(敬称略)

会沢まち子、相原忍、朝日雅也、新井満、新井利民、有山博、市原光吉、伊藤峰子・猪瀬佳子、内野かず子、今井和美・今井教男、梅沢博史、大坂富男、大野邦子・小川満、荻原幸子、小田真、小田原厚子・小田原道弥・小野達雄、門坂美恵、神田紘子、神田正子、菊池一範、木村俊彦、九石智子、倉川典子、黒古次男、後藤美智子・小林史子・坂口佳代子、坂口鶴子・坂本さとし、佐野なな子、柴田澄江、自治労越谷市職員組合、下重美奈子、鈴木紀代子、鈴木倫子、須藤勇一、瀬井貴生・関啓子、高橋儀平・高柳俊哉・武井英子、竹迫和子・田島玄太郎、巽孝子、田中美恵子・津崎悦子、辻浩司、土橋俊二、伝田ひろみ、友野由紀恵、中山佐和子、並木理、新相勝巳、沼尾孝平、野島久美子、橋本克己、橋

本直子・羽田亮介、林まり、原和久・半田清雄、樋上秀、平岩和好、古河誠・藤田行敏、本間亜貴代、前田直哉、増田純一、増田洋介、正木敬徳・森住由香里・八木井雄一、山下浩志、吉井真寿美、吉田久美子、MZ考える会、吉原広子、ZPOふくしネットにいざ、埼玉県移送サービスネットワーク・協働舎レタス、Eひまわり、生活ホームみどり荘、とことこの家・CILひこうせん、(一社)みつくすビート、キャベツの会、所沢ファントムZPO 太陽、ZPO リンクス、地域自立支援グループあん、川瀬クリニック、遊「O」ピア。狭山のペンギン村
新入会員(復帰会員含)ZPO にんじん畑
平林小太郎

運営協力金・1寄附

ありがとうございました。

相原忍、石井樹章、今井和美、大野邦子・小川満、栗原彬、瀬井貴生、関啓子、高橋儀平、竹迫和子、田島玄太郎、田中美恵子・並木理、羽田亮介、半田清雄、古河誠・増田洋介、吉井真寿美、松本優子、水戸川真由美、西屋延子、わらじの会

子ども夢未来フェスティバル 2023

3月11日(土)13時30分~3月12日(日)13時30分~

自立生活協会の八木井雄一さんが、将棋の対局「ユポコの将棋対局室」を、オンライン(ZOOM)で、やります。子ども夢未来フェスティバル2023で、検索して予約フォームで予約していただければ、八木井さんと対局できます。皆さまの対戦を、お待ちしております。子どもも大人も、大歓迎です。

振込先:郵便振替 00180-2-566719

他行からは

ゆうちょ 038 普通預金 9486343

2022年2月10日現在・行き違いがありました場合はご容赦ください。

障害者制度改革 埼玉セミナー・part14

テーマ『総括所見』の見方とこれから
障害者権利条約
19条(地域生活) 24条(教育)を中心に
写真は2022.10.25優生保護法日比谷集会

ちょうど1年前に、DPIの尾上さんに権利条約の国連審査についてお話をいただきました。

そして、2022年8月にジュネーブで行われた建設的対話、その後に国連より出された「総括所見」、対する日本政府の発言。

2023年はDPIの崔さんに、ジュネーブのお土産話をまじえながらお話しいただき、私たちはどのような行動をするのか考える機会にしましょう。

★日時:2023年3月4日(土)13:30~16:30

★会場:岩槻駅東口コミュニティーセンター多目的ルームC

★講師:崔榮繁(さいたかのり)氏・DPI日本会議議長補佐

★ゲスト:川合千那未氏(DPI女性障害者ネットワーク)

★資料代500円 ★問合せ:090-4938-8689(大坂)

主催:(一社)埼玉障害者自立生活協会
共催:埼玉障害者市民ネットワーク

発行人 埼玉県障害者団体定期刊行物協会

編集人 一般社団法人・埼玉障害者自立生活協会 「通信」NO223号 頒価200円
〒356-0006 埼玉県ふじみ野市霞ヶ丘三丁目1番24棟403号 電話049-266-4987

通信編集部 〒344-0021埼玉県春日部市大場690-3
谷中耳鼻科内 電話・FAX 048-737-1489

郵便振替:00180-2-566719 または 038 普通貯金 9486343

E-mail: jirituseikatukyokai@wing.ocn.ne.jp

<http://www.sail.or.jp/>